

事業実施計画の書き方【記入例B】

改善事業実施に向けた取り組みを具体的に記入

必要性、内容及び実施方法（⑥～⑨の事業）	備考
(1) 現状の作業方法（問題点）、所要時間等 【労働能率増進に資する設備・機器等の導入】 現在、2名の従業員が野菜等の食材を洗浄・乾燥し、パック詰め及び梱包までを手作業で行っている。 1梱包（10パック）を完成させるのに約30分を要し、1日平均15梱包を完成することが限界であるうえ、作業後の検品と作業場の清掃などを含め、月10時間程度／人の残業が発生している。	
(2) 労働能率の増進に資する設備・機器等の導入を通じて、どのような改善が図られるか（労働者が直接従事する業務がどの程度軽減されるかー所要時間等ー） 今回、野菜洗浄機（乾燥機能付）を導入することで、1梱包を完成させる時間が約20分となり、約10分の短縮となることから、生産性向上が図られるとともに、残業時間の削減や有給休暇の利用促進にもつながると考えている。	
(3) 改善事業実施による生産性向上、労働者の労働能率増進、業務改善の効果	

※1 (1)及び(2)については必須項目で、(3)については任意

※2 複数の種類の機器等を購入する場合は、それぞれの機器ごとに詳細に記入

※3 必要に応じてセルの幅を変更可